

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)

【公表番号】特表 2012-517617 (P2012-517617A)

【公表日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2012-030

【出願番号】特願 2011-549187 (P2011-549187)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

E 0 6 B 9/24 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/00 B

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335

E 0 6 B 9/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 23 日 (2013.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光制御フィルムと、

カラーシフトフィルムと、を備える、フィルムスタック。

【請求項 2】

前記光制御フィルムが、スカイプフィルム及びマイクロ複製フィルムから選択され、前記カラーシフトフィルムが多層光学フィルムを備える、請求項 1 に記載のフィルムスタック。

【請求項 3】

前記光制御フィルムが、光入射面及び光出射面と、前記光入射面と前記光出射面との間に配設される交互の透過及び吸収区域と、を備え、各透過区域は屈折率 N_1 を有し、各吸収区域は屈折率 N_2 を有し、 $(N_2 - N_1)$ の絶対値は 0.005 以下である、請求項 1 に記載のフィルムスタック。

【請求項 4】

前記光入射面に入射した光が、前記光出射面に垂直な方向に 65 以上の最大相対輝度比 (RBR) で前記光出射面から出射し、 45° 以下の有効極視野角 (EPV) で前記光出射面から出射する、請求項 3 に記載のフィルムスタック。

【請求項 5】

画像光を放射する表示面と、

請求項 1 に記載のフィルムスタックと、を備え、

前記フィルムスタック及び表示面が、前記画像光の少なくとも一部が前記フィルムスタックを通して伝播するように配設され、前記表示面が、テレビの画面、コンピュータ用モニター、ノートパソコンのディスプレイ、ネットブックのディスプレイ、携帯電話、PDA、及びコンソールから選択される、表示装置。

【請求項 6】

穿孔及び請求項 1 に記載のフィルムスタックを備え、前記穿孔が、ガラスパネル、窓、扉、壁、及び天窓ユニットから選択される、構造。